

# しばた市議会 だより



第141号

発行/新発田市議会  
編集/議会運営委員会

特集

戻って来て！Uターン  
移り住んで！Iターン



## CONTENTS

- |        |                          |     |                  |
|--------|--------------------------|-----|------------------|
| 2~5.   | 特集/戻って来て！Uターン 移り住んで！Iターン | 17. | 議会だより愛称・キャラクター募集 |
| 6~7.   | 主な議案・議決結果                | 18. | 研修報告             |
| 8~11.  | 令和2年度決算審査                | 19. | お知らせ             |
| 12~16. | 一般質問 Q&A                 | 20. | SHIBATA TOPICS   |

# 戻って来て！Uターン 移り住んで！Iターン

少子高齢化に直面する地方で、都市機能を維持していくためには、バランスの良い一定数の人口規模が必要です。

市議会では「人口減少問題」を未来に向けての最重要課題と位置付け、議会一丸となってさまざまな取組みをおこなっています。



## 木村 真理子さん

2019年12月に東京都からIターン移住し、貝塚地区で91(キウイ)と、R(ラクタ)の二頭のワンちゃんと一緒に、200坪のドッグラン付きカフェ91Rをオープン。移住者同士の交流会にも参加。

### Q1.新発田に来た理由は。

東京の世田谷で生まれて金融系に勤めていてワンちゃんを飼っていたんですけど、気づいたらワンちゃんに長い時間、留守番だけさせていてかわいそうになってきて、それで一緒にいたいなって。で、50歳を機に一念発起。マスターは新潟の人で、不動産屋さんで探してビビッときて、ここがいいから見てくれて。だから一カ所しか見ていないんです。大きかったのは新発田市の住宅補助金です。東京だと住宅を建てるという選択肢はなかったんですが、この制度がとても役立ちました。また、手続でも「みらい創造課」の方には大変お世話になりました。

### Q2.新発田の印象は。

来たときよりいい(笑)。当初、やることが多くて余裕はなかったんですが、去年4月にオープンして1年たって、改めて見るとスッゴイきれいです。ドッグランの前の樹が桜で春はきれい。冬は雪で真っ白ですが、私、雪嫌いじゃないので楽しかったです。

### Q3.寂しくないですか。

帰省できないのが少しね。団地なので周りの方も新しい方が多くて、皆さん親切にしてくださいませ。お声かけていただいてありがたいですね。



### Q4.今やっていることは。

カフェとドッグランです。誰でも来られるんですけど、今はコロナ禍ですからカフェのランチは予約制です。落ち着いたらまたカフェだけでも使っていただきたいです。ドッグランのお客様は土日が多くて、新潟市の方が多いみたいですね。新発田の方は夕方来て、ワンちゃん遊ばせながら外でお茶飲みして友達とおしゃべりしています。ドッグランの雑草は除草剤使わなくて手で取りますけど、それも楽しいですね。

Q5.ドッグラン、すごく低料金なんですが、収入面で大変でしょう。午前中はリモートでデータ関係の仕事をしています。

### Q6.これからやりたいことは。

将来は老犬ホームですね、今は無理ですけど。この夏にホリスティックケアカウンセラーとシニア犬介護の資格を取りました。その前に、愛犬家や犬好きな方の情報交換や憩いの場として、91Rを使ってほしいですね。

### Q7.新発田に期待することは？

えーと、個人的なんですけど、コストコがあるといいですね。新しいお店ができるとお客様そっちに流れるって言いますが、ついでに新発田の観光地回って、そのついでにここに来てくれれば(笑)。



## 松本 章吾さん

2019年10月に埼玉県からIターン移住し、上館地区で中古住宅を購入して自らリフォーム。その経験を糧に後に続く移住者の伝道的な役割を目指したい。

### Q1.新発田に来た理由は。

元々の住まいは熊谷。日本海の海に遊びに来た際に笹川流れの海の透明度に驚き、すっかり新潟が気に入ってしまった。元々海のある街に住みたいと思っていたので、新潟県海沿いの町の中古物件を探したのがキッカケ。新発田は利便性も良く、手頃な空き家もあったので決めました。

### Q2.新発田の印象は。

雪がすごい(笑)! 雪のない埼玉から見ると初めての体験で、想像以上に大変だったけど買い物にも困らず、生活に不便はないですね。

### Q3.今やっていることは。

仕事は、空き家再生(リノベーション物件)の施工、販売を行っています。趣味はスピアフィッシングで、休みの日は下越の色々な海へ潜っています。新発田市の空き家バンクで築50年の物件を購入して、セルフリフォームに取り組み、休みの日は少しずつ自宅を自分でリフォームしています。

### Q4.これからやりたいことは。

コロナ禍でできなかった会社の同僚と新潟の美味しいお酒を飲みに行きたいですね。佐渡や粟島の海にも行ってみたいし、今後の夢は、もう1軒新発田で中古住宅を自身でリノベーションし、販売したり都会から当地へ人を呼び込むきっかけを作りたいです。



### Q5.新発田に期待することは?

特に現状困っていることは無いですが、強いて言えば雪の問題と、国道7号線の渋滞緩和に取り組んでほしいですね。

## 守谷 純さん

2017年3月に、先行して新発田に移住していた両親を追いかけIターン移住し、「一目惚れ」の米倉集落で妻と子ども3人の5人暮らし。



### Q1.新発田に来た理由は。

妻の両親がリタイア後、義母の出身が福島だったこともあり、その周辺を探している中でたまたま中々山集落に移住しました。その後、何度か訪問している中で、通りがかった米倉地区の風景や雰囲気に惚れちゃいました。その後、「米倉ありき」で移住先を考えていたところ、新発田市が「地域おこし協力隊」を募集中と知り迷わず(笑)応募しました。

### Q2.今やっていることは。

現在、協力隊の3年間が終了して有機資源センターの臨時職員として働いて2年目です。

### Q3.これからやりたいことは。

コロナ禍で、恒例の米倉夏フェスが2年中止となっていますが、地元の人たちとなんとか復活させたいですね。

### Q4.新発田に期待することは?

うすが森保育園はつぶさないでほしい! あとは移住に際しての「家」情報を増やしてほしいです。



## これが現実! 新発田の人口 4つのポイント

### 人口の増減を左右する要素を 見てみましょう。

日本全体の問題を反映します  
まさに【少子高齢化】のすがた

自然減少  
は  
拡大



1995年に約1000人の新生児が2020年には600人を割り込む深刻な状況



1995年に約950人の死亡数が2020年には1300人を超える多死社会に突入

新発田も含め地方共通の問題  
1995年は約250人の増加が  
2020年は約100人の減少へ

社会増減  
は  
転出超過へ



20~30代で地元に戻る「Uターン」の減少が響いているのでないか



18歳人口減少に伴い転出数も緩やかに減少するが転出超過が常態化

# 人口問題に対する取組み

最近5年間での実績

|   |  |
|---|--|
| <p style="text-align: center; color: #e91e63;">住宅取得 (マイホーム)</p> <p>192件(内県外から36件) Uターン120件 転入者 539名</p> | <p style="text-align: center; color: #e91e63;">家賃補助 (アパート等)</p> <p>211件(内県外から59件) Uターン61件 転入者 348名</p> |
|---|--|

新発田市では多くの議員からの一般質問を受けて、2012年から少子化対策の入り口となる、若者層の出会いをサポートするため「婚活事業」への取組みを開始しました。

特徴的なのは、多くの先行事例に見られた「ただの官製お見合い」でなく、異性がどのように考えているかなどの「会う前の心の準備」から始まり、マナーやファッションの指南まで至れり尽くせりのサポート体制でした。これにより実施した「出会いイベント」は4～5割という高いカップル成立率を誇り、定住自立圏による共同開催となった現在は、実施場所などの幅も広がり好評を博しています。

また、2013年から開始した「定住化促進事業」

は、県外からの転入補助に関する制度をベースに、市独自の市外からの転入支援制度を上乗せして、マイホーム取得補助やアパート家賃補助などを強化した結果、2016年には宅地造成などと相まって大幅な転入超過の結果を生み出しました。

しかしながら、進学や就職等で上京後、以前は一定の割合でUターンしていた若年層が、仕事の関係などで戻らなくなっており、特に若年層の女性にその傾向が顕著になっています。

市議会でも住宅取得補助などで周辺自治体と「人口を奪い合う」だけでなく、働く場所の多様化に対応して首都圏から移住するなど「選ばれる都市」になるための提案が積極的になされています。

## 市の動き

### 新発田市の人口減少対策に関する行政の取組み

| 年    | 市の動き   | 内容                                     | 対策         |
|------|--|--|------------|
| 2012 | 婚活支援事業開始   | 市主導による婚活イベントの定期的な開催                    | 自然減        |
| 2013 | 「定住化促進事業」開始  | 中心市街地における「住宅取得補助金」、全地域対象の「空き家バンク」制度創設  | 社会減        |
| 2014 | 結婚祝品交付事業開始   | 市主催の婚活支援事業で出会い結婚したカップルへ祝品贈呈            | 自然減        |
| 2015 | 「みらい創造課」を創設  | 定住促進係設置、Uターン推進のための専門職員配置               | 社会減        |
|      | 「住宅取得補助金」制度拡充<br>「U・Iターン促進住宅支援事業」を開始                   | 親元への近居・同居を上乗せ加算<br>借家等の家賃補助(県外転入者のみ)   | 社会減        |
| 2016 | 「U・Iターン促進住宅支援事業」制度拡充                                   | みらい創造課に「定住促進室」創設<br>新卒者や県内転入者も対象に拡充    | 社会減        |
|      | 新発田市・胎内市・聖籠町 定住自立圏形成協定締結                               | 地方特有の課題を広域で共有                          | 自然減        |
|      | 「住宅取得補助金」制度拡充  | ほぼ市内全域を対象を拡大                           | 社会減        |
| 2017 | 米倉地域の空き家を活用し、短期滞在施設「新緑」整備                              | 移住検討者向け「お試し移住」施設                       | 社会減        |
|      | 「首都圏しばたサポーターズクラブ運営事業」開始                                | 新発田出身者の地元とのつながり維持                      | 社会減        |
| 2018 | 新発田市、胎内市、聖籠町で広域的な定住自立圏婚活支援事業開始                         | 婚活イベントなどの広域開催へ                         | 自然減        |
|      | 「定住促進室」を「定住促進・婚活応援室」に組織変更                              |  |            |
|      | 「住宅取得補助金」制度改正  | 対象区域拡大、単価見直し                           | 社会減        |
|      | 「U・Iターン促進住宅支援事業」制度改正<br>「空き家バンク」制度改正                   | 家賃補助の初期費用廃止、単価見直し<br>家財道具等処分補助新設       | 社会減<br>社会減 |
| 2020 | 個別相談会、1対1のマッチング事業の定期開催を開始                              | カップル成立率の更なる向上を目指して                     | 自然減        |
|      | 「定住促進・婚活応援室」を「ライフデザイン係」に組織変更                           |  |            |
| 2021 | 「住宅取得補助金」、「空き家バンク」業務を建築課へ移管                            | 建築に際しての相談や関連する申請窓口のワンストップ化             | 社会減        |
|      | 若年層に対するライフデザインの啓発を図る事業を開始<br>短期滞在施設「新緑」におけるワーケーション事業開始 | ふるさとに住み産み育てるイメージを共有<br>ワーケーション需要への対応強化 | 自然減<br>社会減 |
| 2021 | 「首都圏しばたサポーターズクラブ運営事業」を「ふるさとをつなぐネットワーク事業」に統合            | Uターンのための施策を統一感を持って推進                   | 社会減        |

## 議会の動き

| 年    | 一般質問 | 代表質問 | 議会全体としての取組み   |
|------|------|------|---|
| 2012 | 3件   |      |   |
| 2013 | 2件   |      |   |
| 2014 | 3件   |      | 総務常任委員会視察(定住促進について他)実施  |
| 2015 | 7件   | 2件   | 全員協議会にて「新発田市人口ビジョン」及び「新発田市総合戦略」の策定状況の報告、「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏構想」について説明を受ける |
| 2016 | 7件   |      | 総務常任委員会視察(移住・定住促進策・雇用創出策等について)実施  |
| 2017 | 6件   | 2件   | 総務常任委員会視察(IJUターン施策 他について)実施   |
| 2018 | 3件   | 1件   | 総務常任委員会視察(若者定住促進施策 他について)実施   |
| 2019 |      |      | H30年度決算審査特別委員会の深堀テーマの1つとして「人口問題」を取り上げる                                  |
| 2020 | 4件   |      | R2年度予算審査特別委員会の深堀テーマの1つとして「移住定住」を取り上げる                                   |
|      |      |      | R1年度決算審査特別委員会の深堀テーマの1つとして「移住定住」を取り上げる                                   |
| 2021 |      |      | R3年度予算審査特別委員会の深堀テーマの1つとして「移住定住」を取り上げる                                   |

## 住宅支援事業

新発田市では、ふるさとに戻るUターンのほか、他市から移住するIターンに関して、住宅確保のた

めのさまざまな施策を用意しています。制度を上手に使ってぜひ、新発田に住んでみてください。

### 住宅取得補助金

当市に転入予定または転入後3年以内で、対象地域で住宅を新築、取得する方に住宅取得費用を補助します。

補助額：最大 150 万円

※新築または増改築を行う住宅の場合は工事の施工前、建売住宅または中古住宅の場合は売買契約前に申請が必要です。

市と協定を結ぶ以下の金融機関では、住宅取得補助金交付対象者に貸付金利が優遇される場合があります。

- 新発田信用金庫** 定住ローン 金利 0.10%  
お借入から最初の 2 年間
- フラット 35** 金利引下げ期間 当初 5 年間  
金利引下げ幅 【フラット 35】の借入金利から年▲ 0.25%

### U・Iターン家賃補助金

当市に転入し、新潟県内に就職した方またはしている方に賃貸住宅家賃を補助します。

補助額：月額家賃の 3 分の 1 以内 (上限 2 万円、最長 24 か月)

※当市へ住民登録した日から 6 か月以内に申請してください。

### 空き家バンク

市内の空き家を売りたい方、買いたい方を支援します。

売却者：家財道具等処分にかかる経費の一部を補助します。  
(対象経費の 2/3 以内 上限額 10 万円)

購入者：売買契約成立後に祝金を進呈します。  
(市外から転入者の場合 10 万円、市内在住者の場合 5 万円)

## 地域おこし協力隊

過疎高齢化に伴い人口減少が著しい地方において、域外の人材を受け入れ、自治体による身分保障を行った上、地域協力活動や課題解決を行ってもらうために 2009 年から開始された国の制度です。

新発田市では 2015 年より募集を開始して、現在ま

で 17 名を採用して現在は 6 人が活動中で、集落支援員就任を含め 8 名が任期後の定住につながりました。

外部からの新鮮な感性が地域のパワーと化学変化を起こし、さまざまな地域課題を抱える集落などで歓迎されています。

#### 配置状況 (R3.10 現在)

- ・地域おこし協力隊...6名
- ・集落支援員...1名

※地域づくりコーディネーター及び多文化共生コーディネーターは市役所に配置

#### 【豊町3, 4丁目】



・結城由羽さん

#### 【板山集落】



・上田幹久さん

#### 【米倉集落】



・上田綾菜さん

#### 【地域づくり支援センター(中間支援組織・地域づくりコーディネーター)...2名



・松下昌史さん



・泉富士夫さん

#### 多文化共生コーディネーター



・坂田佑貴さん

#### 集落支援員

#### 【松浦地区】



・片山卓哉さん  
(元地域おこし協力隊)

#### これまでの事業実績など

##### ■地域内外との交流促進

- ・つどいの場(地域のお茶の間、サロンなど)の創設による地域内交流の促進
- ・協力隊活動地域間の住民の交流機会創出 ex)たき火交流会
- ・地区全体を対象にしたイベントの企画 ex)まつらクリスマスフェス

##### ■地域資源の活用

- ・地域資源を使ったワークショップ、商品の開発 ex)ヨモギオイルWS、苔テラリウム教室、薬草栽培補助

##### ■地域の課題の吸い上げ

- ・地域住民から聞き取った地域の課題から企画 ex)衣料品出張販売、スマホ活用セミナー

##### ■定住後の活動

- ・定住後の進路...起業 2 名(カフェ等) 就職 6 名(農業法人、民間企業、市)
- ・地域の担い手として、継続的に地域づくりに尽力



### 豊浦地区のコミュニティバスの運行について

#### ●コミュニティバス事業特別会計補正予算

##### <総務常任委員会での質疑>

豊浦地区コミュニティバスの行き先について、市街地にもアクセスできるようバス停を整備し、1便と4便を新発田駅発着、2、3便を西新発田接続とした。今後利便性の向上を図り利用客の要望を反映していく。



### 「蔵春閣」の附帯施設整備への早期着工と一体的な利活用の早期実施に向けた陳情書

#### <陳情書の概要>

- 1 蔵春閣の本体部分との一体的な利活用に向けた附帯施設の整備に着手すること。
  - 2 日本唯一とされる歴史的建造物に見合う附帯施設とすること。
  - 3 市民意見等に基づいた利活用計画を策定すること。
- 以上の関連予算計上を早期に執行部に求めること。



#### <総務常任委員会での質疑>

執行部に対し来年度への予算化の可能性、附帯施設着工までの考え方、市民への意見聴取の方法、市民の受け止めについて等質疑があり、担当課は、最終判断は市長であると答弁した。議員からは請願、陳情団体、市民の声をもっと吸い上げるべきとの討議があった。

### 市内小学生と教職員の希望者にPCR検査を実施します

#### ●新型コロナウイルス感染症予防事業

##### <社会文教常任委員会での質疑>

- Q 現場は多忙、人員増はあるか。  
A 考えていない。
- Q 基礎知識がなくても取り扱えるか。  
A 簡易キットを配布、家庭で保護者と一緒で使用してもらう。
- Q 不安解消につながるのか。  
A 今までの対策が有効だったとの確認となる。



### 私立保育園・認定こども園の運営に対する「特別委託料」の現状維持を求める陳情書

#### <陳情書の概要>

新発田市の未来を担う子どもたちを育み、保護者の経済活動や女性の社会進出を支えるためにも、私立保育園・認定こども園の運営・保育の質の確保に欠かせない私立保育園運営委託料(特別委託料等)を削減せず、現行水準を維持すること。

※委員会での審議の結果、継続して審査を行うこととなりました。



#### <社会文教常任委員会での質疑>

- Q 見直しの中で加算もあるか。  
A 拡充・新しく必要なものを積み上げていく。
- Q 実績報告書などの文書がなくなった原因は。  
A この先、しっかり取り組んでいく。
- Q 新発田独自の制度があってもいいのでは。  
A なくそうとしているわけではない。

# 主なものをご報告します。

## 定例会

### 緊急3対策を実施 テイクアウト支援、家賃補助、 売上げ減少事業者支援

● 緊急経済対策事業

< 経済建設常任委員会での質疑 >

Q 対策の内容は。

A 休止中の今・得キャンペーンのうち、飲食店へのテイクアウト支援を実施。時短営業でとりわけ困窮しているバー、スナック等事業者に家賃補助として上限10万円を交付。長期の売上げ減少にもかかわらず県などからの支援のない事業者へ10万円を交付。



### 新発田牛と日本酒のコラボで消費喚起、 コロナを吹き飛ばせ！

● 新発田牛ブランド化推進事業

新発田牛の知名度アップと新発田の地酒のマリアージュ。新発田牛推進協議会による消費喚起、需要拡大イベントを実施。

< 経済建設常任委員会での質疑 >

Q 新発田牛の価格は高いのでは。

A A4、A5ランクの和牛価格は他産地と大きな差はない。消費者に新発田牛は高価格帯の食材だと認識してもらうことが重要。割引は生産者に影響を及ぼしてしまう。



### 主な議案等に対する賛否の一覧表

|       |  |      |
|-------|--|------|
| 議第32号 | 新発田市手数料条例の一部を改正する条例制定について              | 賛成多数 |
| 議第55号 | 一般会計補正予算第6号                            | 全員賛成 |
| 議第37号 | 一般会計補正予算第7号                            | 賛成多数 |
| 議第56号 | 一般会計補正予算第8号                            | 賛成多数 |
| 議第44号 | 決算の認定について(令和2年度新発田市一般会計歳入歳出決算)         | 賛成多数 |
| 議会第7号 | オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書          | 全員賛成 |
| 陳情第1号 | 私立保育園・認定こども園の運営に対する「特別委託料」の現状維持を求める陳情書 | 継続審査 |

詳細およびここに記載以外の議案は  
市議会ホームページをご覧ください。



# 令和2年度 一般会計歳入歳出

**歳出 547億1,853万円(対前年度比126億5,237万円／30.1%増)**

**歳入 564億9,326万円(対前年度比134億9,439万円／31.4%増)**

前年度に比較して歳出約127億円の増額となった令和2年度決算。主な理由は新型コロナウイルス感染症対応と大雪の影響による除雪費の増によるもので、これらを除くと、前年度決算とほぼ同額となります。

決算審査は、**新型コロナウイルス感染症対応**及び**事前に議員全員で議論を重ねた内容**を重点的に行いました。

## 重点項目を 全議員で事前に協議

### 総務関係

- 防災
- 公共交通

### 社会文教関係

- 自殺対策

### 経済建設関係

- 新型コロナウイルス感染症による経済対策
- 後継者問題
- 空き家対策

分科会(常任委員会メンバー)から  
特別委員会へ

## 議員から選抜された委員が 決算審査特別委員会で議論!

### 一般会計決算審査特別委員会

|      |    |     |
|------|----|-----|
| 委員長  | 小柳 | はじめ |
| 副委員長 | 板垣 | 功   |
|      | 比企 | 広正  |
|      | 小川 | 徹   |
|      | 小林 | 誠志  |
|      | 三母 | 高志  |
|      | 阿部 | 聡   |
|      | 渡邊 | 葉子  |
|      | 宮村 | 幸男  |
|      | 渡邊 | 喜夫  |

特別委員会では  
議論が白熱!

その内容は  
こちら

## 新型コロナウイルス感染症対応の主なもの

今・得キャンペーン  
(第1～5弾)

などによる経済支援



特別定額給付金

1人につき

**10万円**支給



小・中学校  
タブレット整備



インフルエンザ  
予防接種の  
助成の拡充



手指消毒器、  
サーモカメラ、  
テレワークシステムの構築



# 決算を審査・認定しました

## 議論が白熱した内容

### 防 災

- 気象災害が激甚化しており、順位づけたインフラ整備が必要
- 国土強靱化の取組みを効果的に進めるためデジタル技術の活用が必要
- 他市と機材を融通しあう柔軟さも必要
- 水害対策について国県と連携し、啓発事業も強化すべき
- データ集積を行い、自然災害について具体的な計画の強化を
- 災害時に避難行動が難しい方を要援護者とし、自力避難が難しい方の名簿の作成が急務

### 公共交通

- 利便性を向上させ若年層利用者を増やし、免許返納者に乗り放題も
- 停留所までの距離をカバーするためグリーンスローモビリティも必要
- 高齢者、通学者だけでなく地域住民が使いやすい形であるべき。柔軟性をもって運営し、論議しながら進めて

### 自殺対策

- 原因は職場ストレス、経済問題。心の弱い人だけではなく、まじめ、熱心な人にも起こりうる問題
- 自殺対策は必要。新型コロナウイルス感染症で増えた事実に対応するかが重要
- 健康問題の悩み解決として、定期健診とリンクした相談窓口が有効では

### 地域医療

- 新型コロナウイルス感染症に対応するための医療体制が非常に脆弱となっている。自宅療養を防ぐためにも地域医療の充実と体制強化が必要

### 新型コロナウイルス感染症による経済問題

- 商工業者に対し、市独自の直接支援ではなく営業活動によるサプライチェーンを守ることで中小企業の支援をするべき
- 業態転換についても商工業者は自ら考えている
- 支援が行き届かない飲食店もあり、追い詰められている。直接支援を希望する事業者の声もある
- コロナ禍前から利用者が減っている状況もある。発想の転換が必要

### 空き家対策

- 県外の人が入れば人口増になる。リフォーム助成で別枠を設けるなど中古住宅購入につながる施策が重要になる
- 価値のある空き家を市場に供給し循環する取組みの検討を

本会議での  
認定へ

本会議での  
賛成・反対の討論は  
次のページへ

# 討論

令和2年度一般会計決算について、賛成・反対の意見を述べています。

## 賛成

令和会 **比企 広正**

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、市民の暮らしを守るため切れ目のない対策を躊躇なく進めた。職員の昼夜を問わず職務を遂行した真摯な姿勢に敬意を表したい。今後も「新発田市まちづくり総合計画」の下、着実なまちづくりを推進されることを望む。

## 反対

日本共産党 **加藤 和雄**

コロナ禍での支援で、市民に寄り添ったきめ細かい対策が弱い。就学援助の拡充と国保の子ども均等割りの削減、米農家や中小事業者への支援策、職員の残業や年休など職場環境の改善、会計年度任用職員の待遇改善をすべき。蔵春閣事業に、これ以上の税金投入反対。

## 賛成

共道しばた **小林 誠**

令和2年度は新型コロナ対策事業として14.3億円を充てたが事業の検証はなされていない。市民にこの間の検証結果を報告すべきである。コロナ禍による格差拡大への対策、米価下落に対する経済対策を検討し、ウィズコロナを見据えて企業の資金繰り対策も必要である。

## 賛成

公明党 **渡邊 喜夫**

コロナの影響で飲食店や観光事業が悪化、割引プランの支援を評価。ひとり親や生活困窮世帯へ支援は暮らしのセーフティネットの役割を果たした。定住化促進・空家対策に成果。財政力指数0.49經常収支比率90.1%公債費比率6.5%とコロナ対応の中、適切な財政運営が行われており認定する。

## 賛成

つなぐ会 **阿部 聡**

①新型感染症では拡大防止策・経済対策とも素早い対応だった。②子育て支援では「特別委託料」は「私立保育園運営委託料」に含まれ、適正に執行されたことを確認した。今後の維持を要望する。③情報発信では情報が市民に確実に共有されるまで行うことを提案する。

## 反対

**青木 三枝子**

経済対策が優先され、感染症対策が後回しになった。税金の一時的なバラまきとなり、先を見越した新たな生活様式・まちづくり・観光振興に繋げるための予算執行ではなかった。感染拡大防止のためのPCR検査数は足りず、医療ひっ迫時の医療体制も整備されていない。

## 8つの特別会計、2つの企業会計の決算を 審査・認定。主な議論は次のとおりです

### 【コミュニティバス事業】

- Q** リフト付きバスは、コストパフォーマンスを考慮すると利用状況を確認の上、リフト改修をせず、別の方法で対応できるのではないか
- A** リフトを設置すると座席数が減少するが、障がい者利用の視点も勘案しなければならない。今後、検討していきたい
- Q** 新型コロナウイルス感染症の乗客数への影響は
- A** 1割程度減っている



### 【介護保険事業】

- Q** 介護保険計画に予定した事業者は集まったか
- A** 地域密着型特別養護老人ホーム1施設の整備を実施。加えて、ショートステイ床からの転換という形で、特別養護老人ホームの多床室を20床増床
- Q** 成年後見制度利用支援事業の利用状況は
- A** 市長申立の支援は令和元年度7件、2年度9件、報酬の助成は元年度4件、2年度19件である



### 【水道事業】

- Q** 新型コロナウイルス感染症の水道使用量に与えた影響は
- A** 年間を通じた使用量が家庭用で3%増、工場、営業用で4~5%弱減、病院用が3%増。巣ごもり需要の影響が考えられる
- Q** 水道料金の減免内容は
- A** 6、7月検針分の水道料金と、9~12月までの基本料金の減免を実施。その時期は水道水量の使用量が増えている



## 一般質問

# 今後の生活 どう変わる？どうなるの？

### 一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案したりしました。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



### Q1 八街市事故にみる教育委員会の事なかれ主義 他 市役所札の辻広場の更なる活用を目指しては

● 小柳はじめ 議員

- Q 小中学校の通学路の危険箇所の把握は
- A 関係機関と協力して例年合同点検を実施しているが更に強化した
- Q バス通学での危険箇所を再三指摘しても隠蔽されるが
- A 保護者や関係機関の意向などを踏まえ対応したい
- Q 通行量の多い国道で通学バスのUターンは安全上ありえない
- A 警察署は「問題ない」と言っている

- Q 乗降の危険箇所について以前から再三指摘されている
- A 現事業者とは話はしているが今までは聞いたことはない
- Q 他人事で片付ける『悪しき組織文化』に問題は無いのか
- A 職員は子ども達のため毎日7時まで残って頑張っている



### Q1 支援が必要な児童生徒対応指導について Q2 ゼロカーボンシティ宣言後の現状と問題は？

● 渡邊葉子 議員

- Q ソーシャルスキルトレーニング等の実施状況と成果はどうであったか？
- A 自立活動の時間を設定し人間関係の形成や集団参加のトレーニングを行うことで人間関係向上などの成果が見られている。
- Q 太陽光発電のコストは他発電より割高であり有害な物質を含むため廃棄時、公害の要因となる。中国製パネル使用はジェノサイドとの関連が懸念されるが。

- A 適正処理については国の指針に従う。報道のとおりであれば太陽光パネル生産時の強制労働は人権侵害として憂慮する。





**Q1 米の需給調整と当市農業の振興と活性化は**  
**Q2 五十公野公園「あやめ園」の整備等について**



▶ 渡邊 喜夫 議員

- Q 米需給調整の達成状況と未達成農家の状況は
- A 達成率は99.1%、未達成農家は456戸
- Q 新発田産米のブランド力強化と消費拡大策は
- A 有機資源センターの堆肥と中山間地の稲作を融合し、海外で引き合いのある有機農業によるブランド米の輸出に取り組みたい
- Q 「あやめ園」全体のコンセプトは
- A 自然の地形と調和する「花の谷」

- Q 「あやめ園」の中はビオトープ整備されている。環境教育の観点から小中学校の総合的な学習教材の活用は
- A 総合学習の時間で小学校の地域教材として充実した学習ができています



**Q1 公営賃貸住宅の増進について**  
**Q2 農村社会の共同体の維持・活性化について**



▶ 五十嵐良一 議員

- Q 高齢者向けの公営賃貸住宅の増進について。
- A 高齢者のニーズを把握し、応えていくためには様々な検討課題があることから、担当課に研究するよう指示した。
- Q 農村社会の共同体としての帰属意識を推進するための具体的な対策について。

- A 地域と行政が共に課題に取り組むことで、強い支え合いの地域づくりに「共助」の仕組みづくりへとつながるものと考えています。
- ※他に次年度以降に向けての経営所得安定農業対策について質問した。



**Q1 集中豪雨時における浸水対策について**



▶ 宮崎 光夫 議員

- Q 見城2区を中心とする上中山、月岡温泉周辺の度重なる浸水被害の対策には、今やらねばならない対策、中長期的に進めるべき対策があると考えている。市長の考えを問う。
- A 河川管理者である新潟県に対して、小烏川の浚渫(しゅんせつ)を強く求める。湛水対策として、排水ポンプ車を市で購入する。長期的には、浸水被害に至る原因の分析と対策について、新潟県、関係土地改良区とともに検討し、

それぞれの役割を果たしていく。





**Q1 感染拡大による在宅死を出さない対策を**  
**Q2 災害時に福祉避難所が機能するためには**



▶ 青木三枝子 議員

- Q 統廃合予定の病院を感染症対応の病院に、又は統廃合した空き校舎を利用した臨時病床設置を
- A 下越には統廃合の該当病院はない。県が病床確保予定であり今は必要ない
- Q 治療薬イベルメクチン等を特例承認するよう働きかけを
- A 薬の治験、承認は国に権限があるのでしない

- Q 要配慮者を受け入れる施設と協議する機会をもっては
- A 課題があるので充実強化に向けて機会をもつ
- Q 事前訓練を行い、受け入れ側のマニュアル作成に役立てては
- A 市が場所を借り市職員が対応することになっているが、施設側と協議し検討する



**Q1 歯と口腔の健康維持について**  
**Q2 しばたっ子台輪の利活用に向けて**



▶ 小林 誠 議員

- Q 要支援～要介護状態にある高齢者の歯科検診受診率の向上を図るべきでは？
- A 受診率は27%と低い。更なる受診率の向上に向けて取り組みたい。
- Q 要支援～要介護1・2の段階で介護事業所と連携し歯科検診を実施できないか。
- A 必要であれば今後検討したい。

- Q しばたっ子台輪を台輪関係団体やPTA等と連携し学校の授業で教育資料として活用できないか。
- A 台輪は教育資料としての価値が高い。授業でどう活用できるか実施に向けて検討する。



**Q1 持続可能な鳥獣害対策について**  
**Q2 下水道接続率の改善について**



▶ 三母 高志 議員

- Q 10年後を見据えた、猟友会の高齢化対策について
- A イノシシなど獣害のため狩猟者確保が必要だ。人員確保に努めたい
- Q 獣害対策優良事例の展開によるリーダー育成について
- A 成功事例を広めると共に、県の指導者養成研修等へ派遣し支援したい

- Q 接続率アップのためのリフォーム補助金拡大について
- A 公共下水道の接続促進を含めた住宅リフォーム事業見直しは、予算編成時に検討する
- Q 接続率向上のため早期接続者の使用料減免について
- A 接続率改善の良いアイデアだ、調査研究したい





**Q1 身近に迫る獣害とその対策について**  
**Q2 全公用車にドライブレコーダー設置を**



▶ 中野 廣 衛 議員

- Q 市内でも昨年、今年とクマによる人身被害が報告されているが、喫緊の対策は。
- A 出没地域には、パトロール、あんしんメールでの情報発信、注意喚起看板の設置など、人身被害の防止を最優先に取り組む。
- Q 現在の設置状況と今後の方向について。

- A 本年8月末現在で、全公用車319台のうち32台に設置済。今後も車両入れ替え時に合わせ、設置車両増車に努める。



**Q1 青少年時代の佐々木三郎盛綱の縁を活かす**  
**Q2 コミュニティスクールに思う**



▶ 今田 修 栄 議員

- Q 佐々木盛綱が8歳の幼少期より20年間過ごした現在の海老名市と防災協定締結をすべき、と先般質問したが進捗状況は。
- A 海老名市長と面談し締結したいとお話をいただいた。11月8日に締結の予定。
- Q 市民間交流について。
- A 市民交流事業補助金を創設し市民間交流の支援を進めている。

- Q 令和2年12月定例会以後のコミュニティスクール実施状況はどのようになっているか。
- A 現在、他校に先駆けてコミュニティスクールを実施している東豊小学校において、これまでの成果や課題を整理している。



盛綱が建立した藤戸神社



**Q1 「2050年カーボンニュートラル」について**  
**Q2 「新発田市パラスポーツの推進」について**



▶ 小坂 博 司 議員

- Q カーボンニュートラルには地球環境問題への市民の理解が大切だ。いかに取り組むか。
- A 懸垂幕による周知やSNSなどを活用し、地球温暖化を意識した行動となるよう取り組む。
- Q 市有施設のCO2排出量の計画目標値が『甘く』、施策を進める意欲を感じないが。
- A 今後策定する「地方公共団体実行計画」と併せて検討し、計画に沿うよう加速する。

- Q 東京パラは感動の内に閉幕した。障害者の社会参加にはパラスポーツがうってつけと思うが。
- A 現在有識者とともに調査・研究を進めている。結果を踏まえ推進手法を検討する。





### Q1 新発田の子どもたちの保育環境を守るため「特別委託料」の現状維持を求める



▶ 阿部 聡 議員

- Q 市の支出基準を明文化すればよいのでは。
- A 新たな補助制度構築が不可欠だ。
- Q 市は「特別委託料」を運営費と認めてきた。人件費を含む運営費にあてるのは当然では。
- A 運営費にあててを積極的に認めてきた経緯はない。
- Q 市長の言う「特別委託料を27年度の水準に戻す」の具体的内容は。
- A 平成26年度実績額を提案したが、取り下げた。
- Q 特別委託料を減額すると待機児童が出る。減らすべきではないが。
- A 他市で待機児童はいない。「福祉の心」は損得勘定に左右されない。



### Q1 年々激甚化する降雨、その水害対策は Q2 コロナ禍で苦しむ、市内経済対策を



▶ 宮村 幸男 議員

- Q 田んぼダムは旧神林村から始まったが、今は全国で整備が進む。面積拡大の重要性から全体計画を伺いたい。
- A 既に取り組んでおり、今後「水田貯留機能強化計画」を策定することとし、地区選定や活用を土地改良区と協議している。
- Q コロナが終息を見ない中、所得減で苦境に立つ小事業所も広く援助し、市内経済活性化を促す対策を伺いたい。
- A 県が支援しない飲食関連以外の小売業、宿泊・バス事業者、個人の大工、理美容業等を幅広く支援し、一刻も早い経済回復と雇用を守りたい。



### Q1 新型コロナから市民のいのちを守るために Q2 国保税の子どもの均等割軽減について



▶ 加藤 和雄 議員

- Q 行政検査の抜本的な拡充と感染の顕著なところに、市独自で大規模検査を実施すべき。
- A 施設での感染が顕著でないことから、現時点では考えていない。
- Q 児童・生徒が感染したときの対応とケアは。
- A 一斉配信メール等で連絡。感染者に対する差別防止に最大限配慮する。
- Q 来年度から未就学児の均等割が軽減される。国に軽減対象の拡大を求めていくべき。市独自で18歳未満まで5割軽減を実施すべき。
- A 全国市長会を通じて要望する。減免を行った場合、不足する財源は他の被保険者の負担となり、公平性からも適切でないと考える。



# 市議会だよりの 愛称とキャラクターを募集します！



## 名付け親になってください ～愛称部門～

採用された愛称はデザインを  
施し、次号から使用予定です

メインタイトルに  
なります！



### 応募締め切り

令和3年12月14日(火)必着

### 応募方法

- 市議会だよりの愛称、愛称の簡単な説明のほか、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、郵送、ファックス、メールまたは持参してください。様式は問いません。

## 共通事項

### 応募条件

- 県内在住の方
- 部門ごとに一人1点まで

### 副賞

- 採用された方にQUOカード10,000円分、次点となった方にQUOカード5,000円分を贈呈！

### 審査・発表

- 議員全員の投票で上位5案を選出後、広報小委員会で選定します。
- 結果は、応募期限の1か月以内に採用者への通知、市議会ホームページで発表します。作品が初掲載される議会だよりでもご紹介します。

### その他

- 応募作品は返却しません。
- 応募作品は、自作で未発表のものに限ります。
- 採用された愛称、キャラクターデザイン、キャラクター名の著作権、使用権は新発田市議会へ帰属することとなります。
- 採用作品について、必要に応じ修正・補正させていただきます場合があります。

## 素敵な案内役を！ ～キャラクター部門～

採用されたキャラクターは、4月末発行号から使用予定です

### 応募締め切り

令和4年1月17日(月)必着

### 応募方法

<手書きの場合>

- A4白色紙にカラーで描いた作品を郵送または持参してください。
- 採用された作品は後日データ化して使用します。

<デザインソフト等で作成する場合>

- フルカラーで作成し、4MBまでのJPEGまたはPDF形式のデータをメールで送付してください。

<共通事項>

- デザインには、キャラクターの名前、キャラクターの簡単な説明を付記してください。
- 応募に際し、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください。様式は問いません。

たとえば…新発田で活躍しているキャラクター



アスパラくん  
(JA北越後)



しばたん  
(新発田市観光協会)

ご応募  
お待ちしております  
ま～す！

## 送付・問い合わせ先

〒957-8686 新発田市中央町3-3-3  
新発田市議会事務局  
TEL：0254-28-9400 (事務局直通)  
FAX：0254-26-2985  
E-mail：gikaijimu@city.shibata.lg.jp

詳しくは、新発田市議会ホームページをご覧ください





## 法律の及ぶ範囲は行政で 及ばない人には民間で支援を

◎第5回議員政策勉強会

新発田市における貧困問題

<8月23日(月)午後3時半～・議場>

第1部講師/新発田市社会福祉課長 榎本道夫さん  
演題/新発田市の生活支援の現状と課題

### 支援策を総動員、困窮者に寄り添う

全国的に生活保護世帯は戦後漸減してきましたが、バブル景気崩壊後は上昇に転じ、2015年頃からは再び減少傾向に転じました。生活保護は高齢者世帯に多い傾向がありますが、新発田市でも同様で新潟市・村上市に次いで高い。平成30年度で719世帯、令和元年度710世帯、令和2年度で725世帯でした。令和2年度の相談件数は150世帯で、うちコロナ禍理由は19件。生活保護の課題としては、申請をためらう人が多い、田舎では必需品の自動車が資産としてカウントされる、生活保護基準以下で生活している人も多いなどが挙げられます。

ひとり親家庭で児童扶養手当受給者は650人程度であり、養育費を受け取っていない母子家庭が約62%と非常に高いにもかかわらず、正規雇用は40%程度と低い。従って生活は苦しく、子どもの教育・進学に悩んでいます。新発田市では就労準備支援事業や県内唯一の高校生相談支援事業、住居確保給付金制度などを活用して可能な限り支援しています。職員の疲弊は激しいのですが、今後は「ひきこもり」や「ヤングケアラー」の問題にも対応を迫られます。

相談窓口の周知、フードバンクしばた・新発田市仏教会・天理教などの民間支援団体との連携、そして行政職員の育成に努めなければなりません。



社会福祉課の榎本道夫さん

第2部講師/フードバンクしばた副代表

土田雅穂さん

演題/活動～とくにひとり親家庭支援について

### 教育委員会の協力で貧困家庭を把握

平成27年の県調査ですが、年収100万円以下がひとり親世帯全体の23%ほど。200万円以下は64%です。ひと月10万円いかないでどうやって暮らしていけるのでしょうか。ところが「生活保護は受けたくない」と言うんです。ほとんどがパートでダブルワーク、トリプルワークです。お金がないだけでなく、想像できないほどのストレスを抱えています。子どもさんは親に負担をかけたくない、大学進学なんて考えちゃいけないと思っています。私たちはそういう方を支援しています。

最初は平成28年、学用品や部活用品支援に始まって、フードバンクと生活用品・子ども食堂・体験教室・ママの休憩室・訪問(非施設型)病児保育・無料塾・ナプキン支援など、事業は包括的に広がってきて現在13事業。今、35人以上のボランティアさんが主体的に計画して実行しています。ぜひ、皆さん方のご支援をお願いします。

※フードバンクしばた ☎0254-20-8666



フードバンク  
しばたの  
土田雅穂さん

# 議会からのお知らせ

## 12月定例会日程予定

| 日     | 月                            | 火                           | 水              | 木             | 金             | 土  |
|-------|------------------------------|-----------------------------|----------------|---------------|---------------|----|
| 11/28 | 29                           | 30                          | 12/1           | 2             | 3             | 4  |
|       |                              | 本会議<br>(提案理由説明)             |                | 本会議<br>(一般質問) | 本会議<br>(一般質問) |    |
| 5     | 6                            | 7                           | 8              | 9             | 10            | 11 |
|       | 本会議<br>(一般質問)<br>議会運営<br>委員会 | 常任委員会<br>(総務) (社会文教) (経済建設) |                |               |               |    |
| 12    | 13                           | 14                          | 15             | 16            | 17            | 18 |
|       | 議会運営<br>委員会                  |                             | 本会議<br>(議案等採決) |               |               |    |

※請願・陳情の提出期限は11月24日です。  
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。

## 本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継します。

### ①FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



### ②インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



### ③インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>



## 「リアル議会報告会をネットでも」が 第16回マニフェスト大賞 エリア選抜に選定

### マニフェスト大賞とは・・・

地方自治体の議会・首長等や地域主権を支える市民等の、優れた活動を募集し、表彰するものです。今回は2,730件の応募があり、新発田市議会の取組みは、エリア選抜(全国で165件、北陸・甲信越エリアで11件)に選定されました。

各地区で年2回開催している「議会報告会」を、新発田市の議会委員会室からYouTubeLiveで発信しました。

世界どこからでもリアルタイムで見ることができ、意見はチャットで頂き、その場で回答しています。

この取組みは、地方紙でも記事となり、それを見た他市の議員からも問い合わせがありました。

次回、11月30日(火)午後7時から配信予定です。ぜひ、ご覧ください。

チャンネル登録はこちら



令和3年5月28日の様子



令和2年11月30日の様子





# SHIBATA TOPICS

## キラキラ輝く若いチカラ



### 授業で学んだことをまちづくりに活かしたい！



少人数だから  
男女関係なく団結して学べます。  
住居環境科・藤井雛乃さん



表紙写真 |

新潟職業能力開発短期大学校・住居環境科



### 職能短大は即戦力、地元企業に活力を与えます

今回訪れたのは職能短大、住居環境科で「まちづくりドラフト会議 for Youth 2021」に挑む学生たちだ。今年は『想いを刻む壁』と題して、駅前の空きスペースの利活用を考え、まちに賑わいを取り戻そうというもの。駅前にコンクリートで作った約3m×2m強の壁を設置、壁にはペンキなどで絵を描き、その前で「インスタ映え」する写真を撮ってもらいたいと言う。10月時点ではキッチンカーの出店なども企画していたが、実現までにはまだまだ練り上げなければならない。阿部海斗さんは「まちづくりには夢がある」と語り、加藤泰幸さんは「地元で就職して、将来はでっかい建物を建てたい」と目を輝かせていた。ぜひ、新発田の活性化にちからを貸してほしい。

表紙／後列左が阿部海斗さん、右が加藤泰幸さん。前列左が藤井雛乃さん、右が永井奈央さん。裏表紙／①住居環境科では「大工」の基本も学ぶ。「素直で覚えが早い」と坂下哲也先生。②写真は電気エネルギー制御科。ほかに生産技術科・電子情報技術科・住居環境科がある。③「就職率は毎年、ほぼ100%」（寺内美奈校長）。

### 編集後記

前号から全面リニューアルした新・議会報はいかがでしたでしょうか？

今までは「知らせる」といったお堅く、権威的なイメージでしたが、市民にもっと親んでもらい交流を活発にしたいという、議員全員の熱い思いをできるだけ易しく噛み砕いて詰めこみました。

今回は、みなさんとの「橋渡し役」となるキャ

クターと愛称の募集を開始します！新キャラの案内で、市議会がより身近になるよう広報機能をもっともっと強化して、議会改革をさらに進めていきたいと決意を新たにする今日この頃です。

(文責・小柳はじめ)

【編集委員】委員長／宮崎光夫 委員／小柳はじめ・阿部聡・小林誠・加藤和雄・石山洋子